

提言 総合外交戦略委員会(大歳卓麻委員長)

世界構造の変化と日本外交新次元への進化

～日本力を発揚する主体的総合外交戦略～

激しく変化する国際情勢と日本の存在感の希薄化を踏まえ、今後の日本外交・安全保障政策はいかにあるべきか。総合外交戦略委員会では、それを日本社会に問うことを一つの目的として提言を2月3日に発表した。提言では「日本創生」を実現し、国際社会の課題に主体的に携わっていくための総合的な外交戦略を示している。

*詳しくは<http://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2010/110203a.html>

I

国際社会における
日本外交の
役割は何か

国際社会の課題

国際合意の
困難化

新しい
国際秩序
の模索

国際的影響力を行使できるプレーヤーが多様化し、国際合意を得ることが困難になってきている。国際合意はグローバル化が進む国際社会における公共財の一種であり、新たなメカニズムをめぐって模索が始まっている。

国際社会の中で 日本が進むべき道

国際社会を
「つなぎ直す」
ファシリテーター

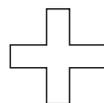
意義ある国際合意形成が困難な現状において、核となる有志の国家や集団を結び付け、国際ガバナンスを機能させるための日本外交が必要。

II

なぜ、
総合外交戦略が
求められているのか

国際情勢と日本の国際的地位

- ・新興国の台頭など国際的プレーヤーの多様化
- ・国際社会が直面する課題の多面化



日本の
国力低下

これまでの外交戦略では通用しない。
国力の低下を、これまで以上に外交力の強化によって補う必要がある。

今後日本がとるべき
総合外交戦略とは

1

事前・事後の
対処を見据えた
時間軸上の
総合性

2

多国間外交に
備えた
地理的範囲
の総合性

3

内・外政、安保・
経済などの
政策をリンク
させる総合性

4

官民・党派を
問わず
広く人材活用
する総合性

III

総合外交戦略を展開する分野は

日本外交の資産「日本力」を活かす



IV

外交政策を支える体制整備はいかにあるべきか

日本政府の外交力強化

基盤整備

① 政府の外交機能強化

国家安全保障会議の設置による外交政策の司令・調整機能と、戦略策定機能の整備。

② 政府の情報収集・分析・管理機能の強化

情報収集・分析機能を充実させ、政府内で統一された情報管理・保全制度を構築する。

③ シンクタンク設立

優れた政治判断を支えるインフラとして民間シンクタンクを設立し、日本外交の構想力を強化する。

④ ニュー・エリートの養成

国際的な合意形成の場で、日本の主張・価値観を発信し、活躍できる人材を養成する。